

# 津山市土地開発公社解散プランの概要

津山市  
平成24年11月

## 1. 公社解散に向けた取組概要

- ・ 公社の事業整理については、平成22年に外郭団体経営検討委員会が指摘したように、抜本的整理が必要との認識の下、三セク債の活用を視野に入れ、解散スキームの検討を進めてきたところ
- ・ 本市としては、8月に策定した解散プラン基本方針に基づき、関係機関との調整やスキームの精査を継続的に行い、115億円を予定する三セク債の起債を核とした解散プランを策定した次第
- ・ 解散プランでは、公社の厳しい現状やこうした事態に至った経過を再確認するとともに、最終の解散スキームと実施スケジュールを明示
- ・ 今後のスケジュールは、12月定例会に先行取得公有地の買戻し等の議案を、来年3月定例会に三セク債の関連議案を提案する予定
- ・ なお、三セク債の償還年限や金融機関との基本合意等については、調整が必要な部分が残っており、今後も詰めの作業を継続する方針

## 2. 解散プランの概要

- ・ 解散プランは、公社の概要、公社の現状分析、解散の必要性とその具体的方策、解散計画、三セク債発行に係る市財政シミュレーション、三セク債発行が市財政に与える影響及び総括といった流れで、公社の解散スキームに対する本市の考え方やその実施方法等を明示。その要旨は次のとおり。

### 公社の概要、公社の現状分析

- ・ 公社設立の経過から、約149億円の債務と、多くの未処分用地を抱える公社の現状等の分析を行い、その上で、こうした現状に至った経緯と責任について、設立団体であり、かつ、多額の債務保証を行っている本市として、重く受け止めるとともに、主体的に事業整理を行う必要があると小括

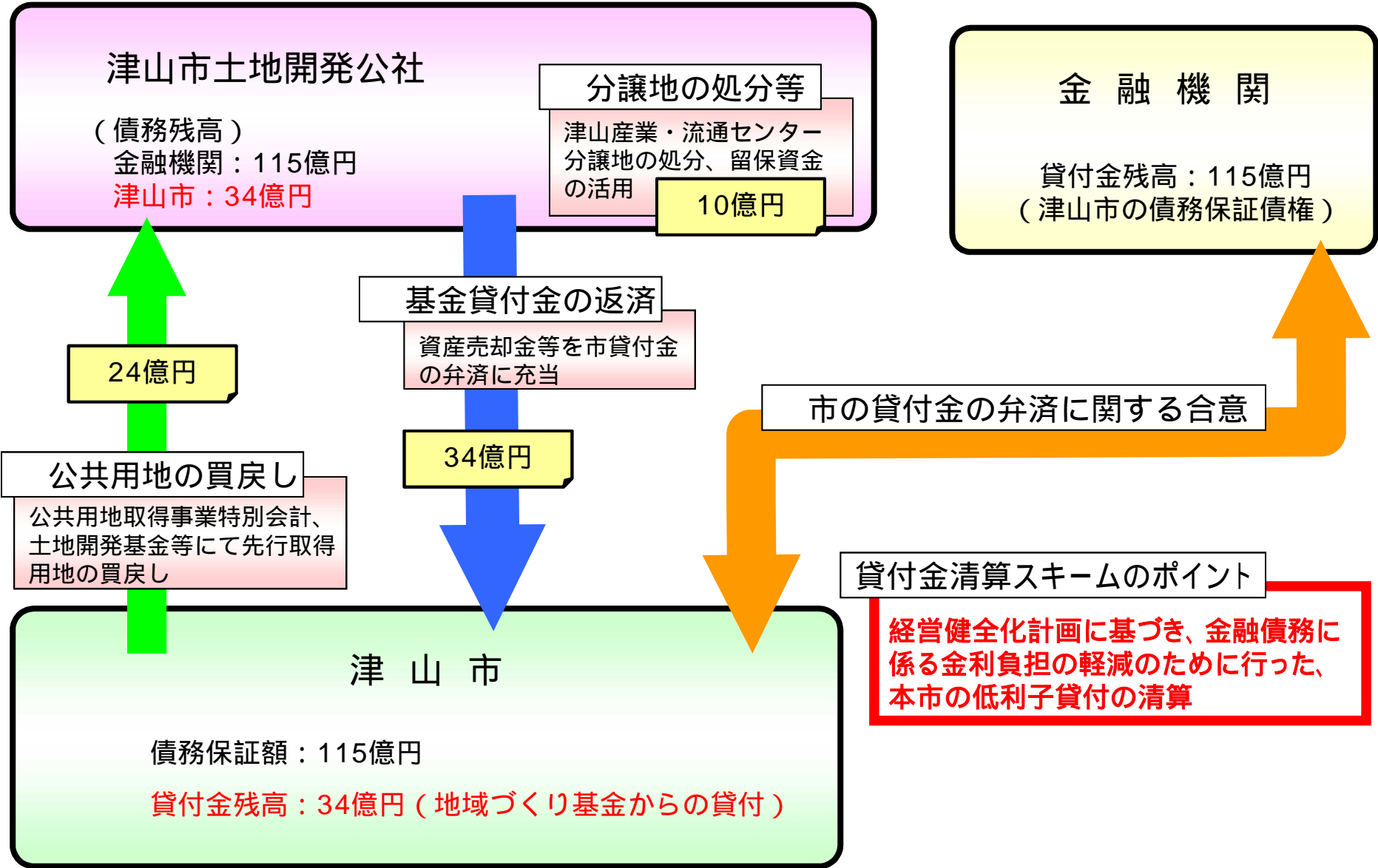
### 解散の必要性とその具体的方策、解散計画

- ・ 平成25年度までの時限措置である三セク債制度以外に、公社の債務を抜本的に整理する方策がないことを再検討し、その上で、本市からの貸付金の回収と、三セク債による金融機関債務の代位弁済をベースとした解散スキームの内容等を提示

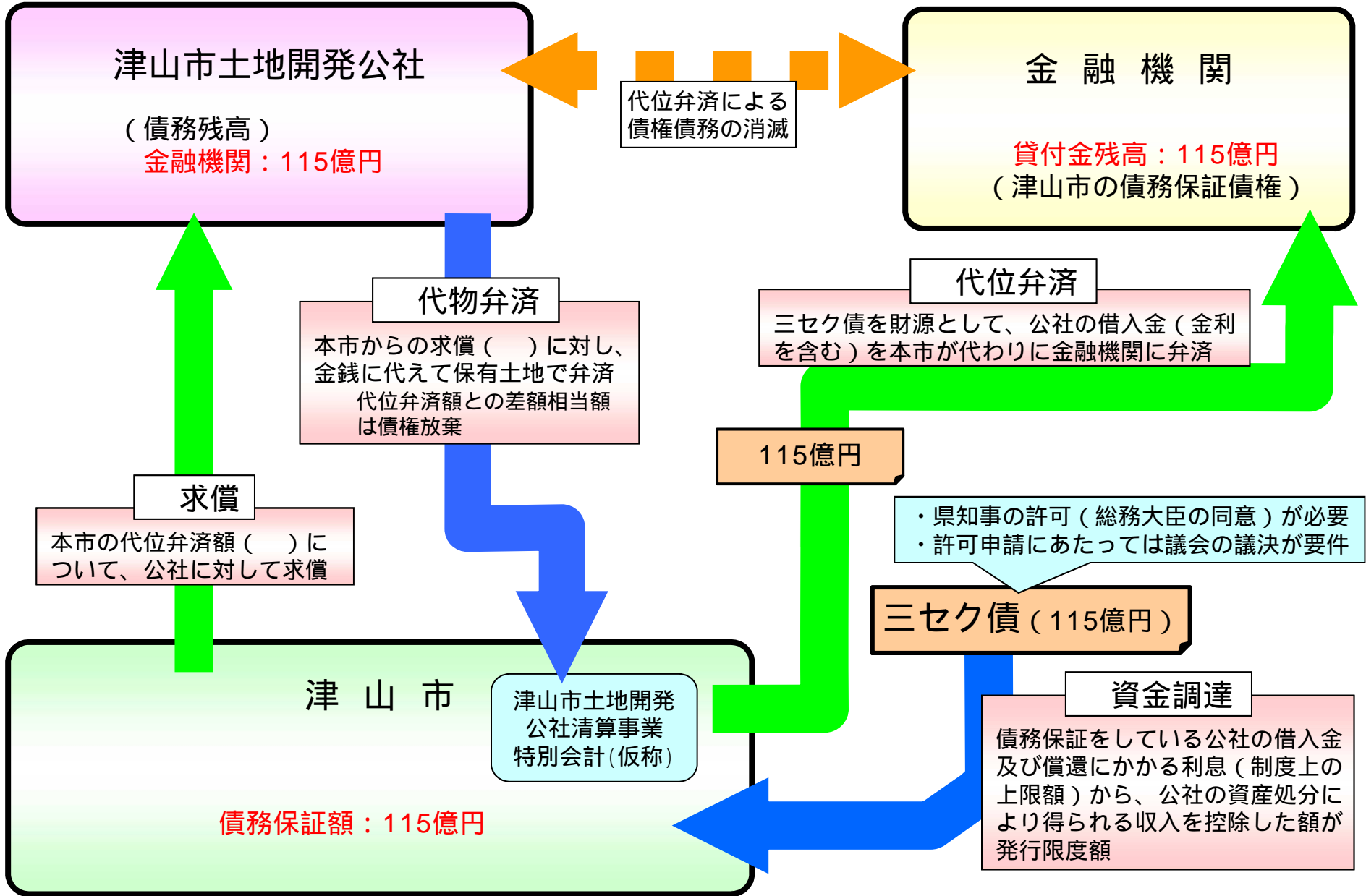
### 市財政シミュレーション、市財政に与える影響、総括

- ・ 三セク債の償還年限を30年（実例上の上限）と想定した場合の財政シミュレーションと財政健全化指標等への影響を試算し、赤字団体とならない財政運営の見通しを明示
- ・ 解散プランは、長期的にみれば抜本的な財政健全化対策の一環であるといえるが、本市が未来にわたり果たすべき役割と責任は、負の遺産の整理にとどまらず、企業立地の促進等の本市の将来を見据えたまちづくりに取り組むことであると総括

# 貸付金清算スキームのイメージ（平成24年度実施予定部分）



# 三セク債を活用した金融債務清算スキームのイメージ（平成25年度実施予定分）



# 今後のスケジュール

